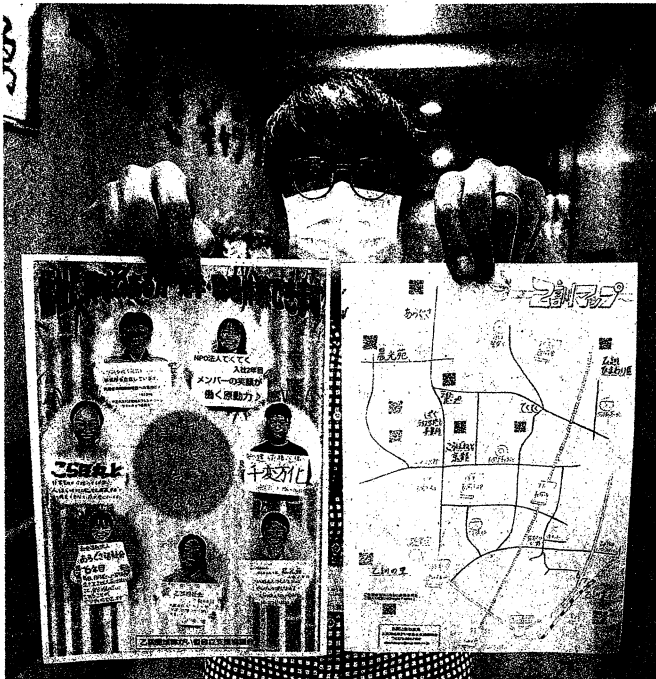


# 人手不足・コロナで学生との接点減

# 乙訓障害福祉 採用でタッグ



障害福祉事業所の若手職員らが仕事の魅力を訴えかけるチラシ

人手不足に悩む障害福祉サービス分野で、乙訓地域の7事業所が協力して求人募集に取り組み始めた。「乙訓地域の事業所をあげて、学生や求職者との接点をたくさん」と合同でチラシを作り、説明会を開く。

2市1町などをつくる乙訓圏域 B4判のチラシでは7事業所の障がい者自立支援協議会が、昨年度に人材確保や育成のために専門の部会を立ち上げ、7事業所が参加して対策を協議する中で実施した。真におさまり「見学・職場体験で

## 7事業所で魅力伝えるチラシ作成 来月12日に合同説明会

「きまます」と呼び掛けている。福祉分野での人材不足は全国的に深刻化している。今年7月に行われた全国介護事業者連盟の調査によると、会員217法人のうち87%が人材不足の状態で、4%が事業を縮小したという。

同協議会人材確保・育成部会の森井詳大代表(43)は「新型コロナウイルス禍のために仕事現場を見せたり、学生に対面で魅力を伝えることができなかった。利用者との接触が避けられないことで敬遠された面もある」と分析する。

7事業所はこれまで採用活動を単独で行ってきた。しかし同部会は「採用にエネルギーをかけられるところばかりではない」とし、まずは共通課題である採用活動を協力して周知することにした。

7事業所のうちの1つ社会福祉法人「向陵会」(向日市上植野町)で第2ひまわり園施設長を務める森井代表は「障害のある人と言葉が通じなくても、何げない日常で心が通じ合う瞬間がある」と魅力を語る。「チームで働きながらスキルが学べる。きつい仕事と思われがちだが、現場の声を受け、休みやすさなど働きやすい職場に変わってきた」と話している。

問い合わせは協議会事務局(954)79339まで。希望に合った事業所の見学を仲介する。

10月12日には乙訓保健所で、乙訓や周辺の33の福祉事業所が集まる説明会を行う。午前10時～正午。

(古市八)